

おぼえておこう 声の伝言板 災害用伝言ダイヤル171

災害の後は、電話が繋がらないこともあるので、171の使い方をおぼえておこう。

災害用伝言ダイヤル171の使い方 音声ガイダンスにしたがって入力しよう。

- 171 にダイヤルする
公衆電話でもOK
- 録音 ①をおす
再生 ②をおす
- 電話番号を入力する
家の番号(市外局番から)
おうちの人携帯番号
伝言につかう電話番号を
おうちの人ときめておく
- ①おす
伝言をいれる(30秒)
「無事です」
伝言をきく

毎月1日・15日、防災週間8月30日～9月5日など、体験利用できるので練習しておこう!

「もっと知ろう」をよみとって、
防災について、もっと考えてみよう!



下のURLからでも、アクセスできます。
<https://www.okbc.or.jp/learn-more/>

防災は日頃の心がまえと備えから

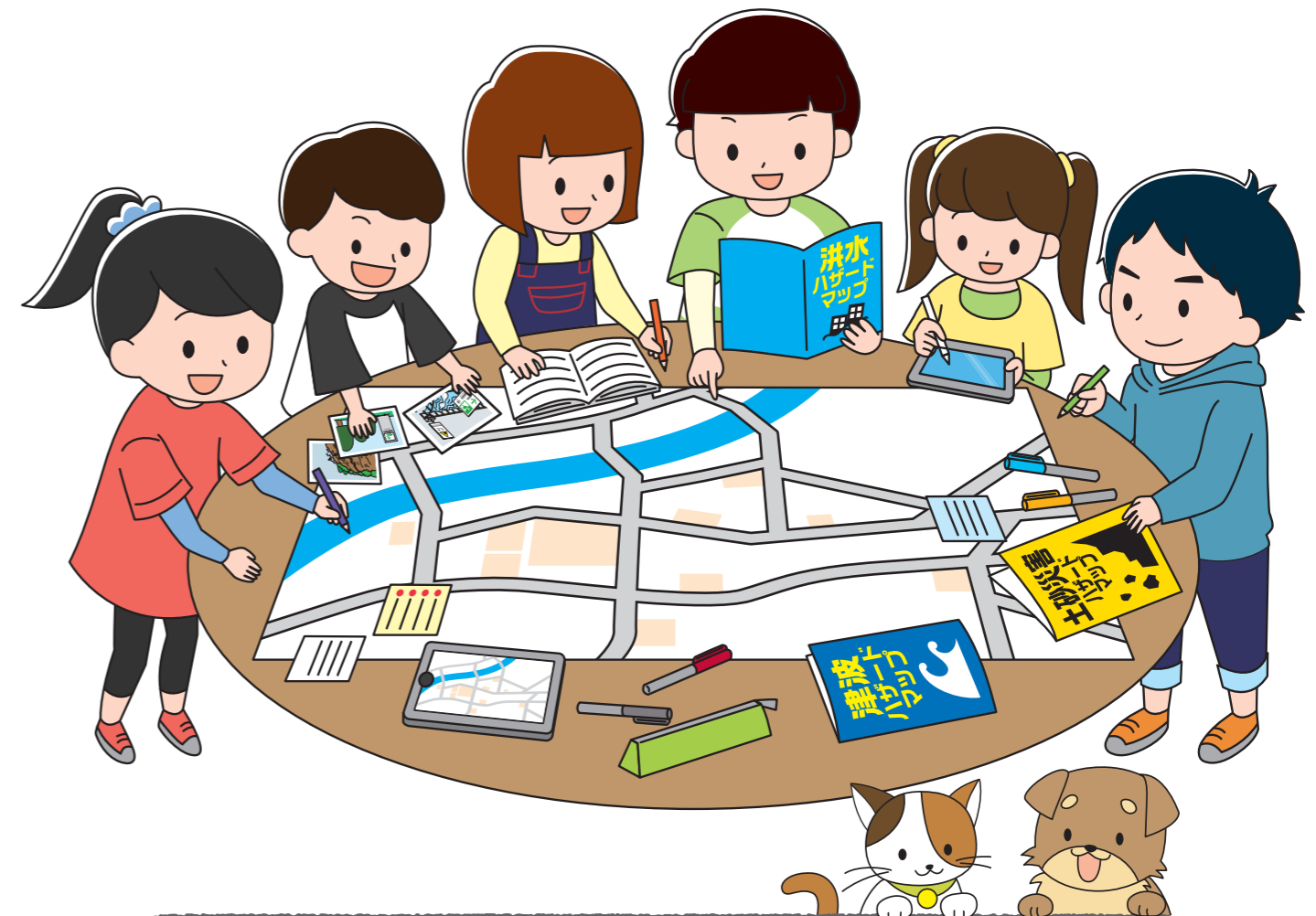
災害は、いつ、どこで、おこるかわかりません。
でも、ふだんから注意して、そなえていれば、危険をふせいで、被害を小さくすることができます。それを防災といいます。
一人ひとりが防災に関心をもって、日頃から備えることが大切です。
この本をよんで、おうちの人やお友だちのみなで、防災について考えてみましょう。



一般財団法人 大阪建築防災センター

「みんなで考えよう」についてのお問合せ
企画耐震部 ▶ ☎ 06-6942-0190 ✉ info@okbc.or.jp
<https://www.okbc.or.jp/bousai/>

みんなで考えよう



なまえ

地震

グラリ！地震だー！大きなゆれをおこして、おそってくる地震から身を守れ！

もっと知ろう！



グラッときたら、身を守れ！

ものが落ちてこない、たおれてこない場所へにげる。

クッションなどで頭を守り、家の中の安全な場所やテーブルの下にもぐり、ゆれがおさまるのを待とう。

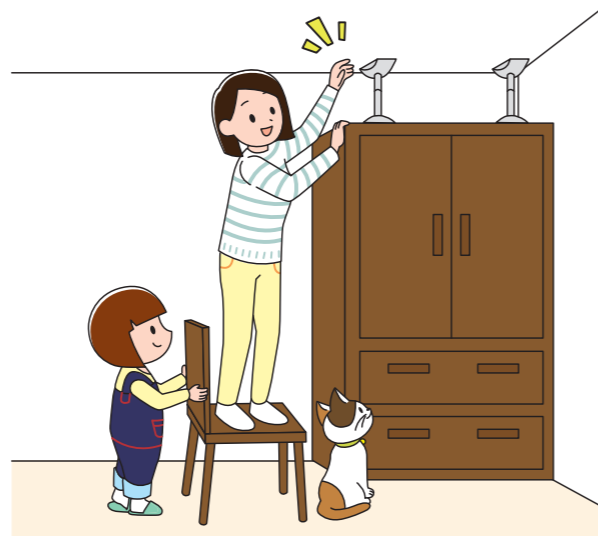


地震にそなえよう

ものが落ちてきたり、家具がたおれたりするととても危険！

置き場所をかえたり、家具がたおれたりしないように工夫をしよう。

家の中を安全にしておこう。



地震のゆれがおさまった！

あわてて、外にとびださない！

家の中も外も、危険がいっぱい。けがをしないように注意してにげよう。



使っていた火を消しておこう！

地震でこわいのは火事になること。むりをせずに、消せる火は消しておこう。



にげ道をつくろう！

ドアや窓がゆがむと開かなくなり、外へにげられなくなる。

われたガラスなど足元に注意してドアや窓を開け、にげ道をつくる。

家の中をあるくときは、スリッパやくつをはこう！



津波や火事、土砂災害の危険があれば、近所の人といっしょに、急いでにげよう。

おぼえておこう 地震がくるお知らせ 緊急地震速報

テレビなどで、地震の強いゆれがくるとお知らせしてくれます。

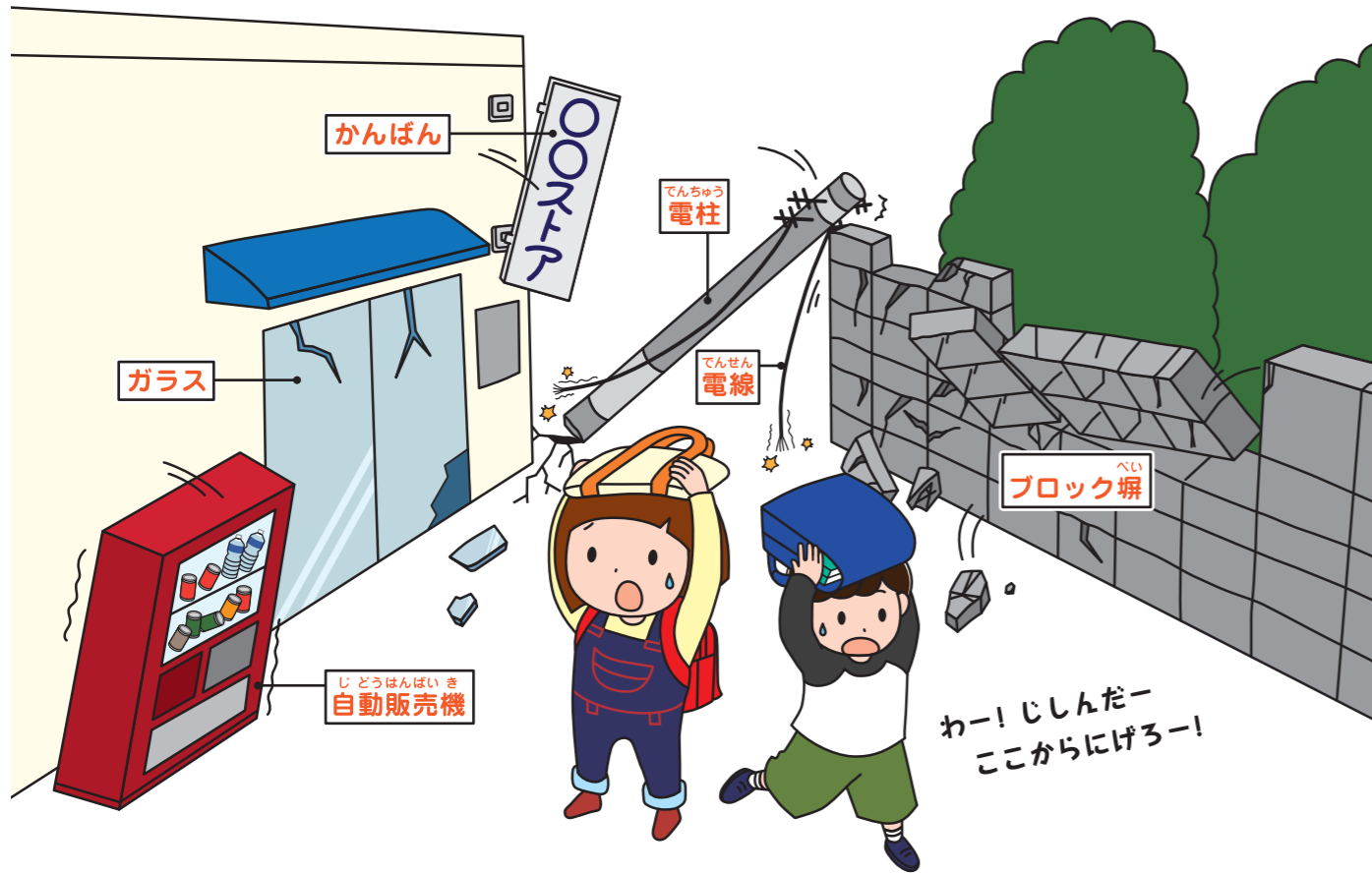
緊急地震速報を見聞きしたときは、自分の身を守る行動をとろう。



登下校中にグラリ!

危険な場所から、急いでにげろ!

ものが落ちてくる、たおれてくる、危険な場所から急いでではなれて、かばんや両手で頭を守り、安全な場所へにげよう。



わー! じしんだー
ここからにげろー!

がけくずれや津波がおこる、がけのそば、川や海の近くから、急いでではなれる。

近くの避難場所へにげろ!

外にいるときは、避難場所になる近くの公園や広場へにげよう。

おうちの人とはなればなれのときに、あえるように避難場所や集合場所を決めておこう。

お友だちと遊ぶときは、おうちの人に行き先をつたえておこう。



お店の中でグラリ!

あわてるな! 落ちついて行動!

落ちてくる、たおれてくるものに注意して、危険な場所からはなれる。

自分勝手な行動をせずに、お店の人の指示にしたがってにげよう。



エレベーターは乗るな! 階段でにげろ!



動かなくなり、閉じこめられる危険があるので、地震や火事では、階段でにげよう。

エレベーターに乗っているときは、すべてのボタンをおして、止まった階でおりる。

閉じこめられたときは、非常ボタンをおして助けを呼ぼう。

おぼえておこう にげるときの道しるべ 非常口

地震や火事するとき、みどりいろの非常口の明かりを、めじるし目印にしてにげよう。

外出先では、非常口をたしかめよう。



津波

地震がおこると、津波がくるぞ！
大きな波でおしよせる津波から身を守れ！

もっと知ろう！



いそげ！津波からにげろ！

津波のスピードは、とてもはやく。海の近くでは、小さなゆれでも油断せずに、津波がくる前に、急いで高台へにげよう。

地震のゆれがなくても、津波警報や注意報を聞いたなら、急いでにげよう。



おぼえておこう 津波から身を守るためのマーク

津波注意



地震がおきたとき
津波の危険がある場所

津波避難場所



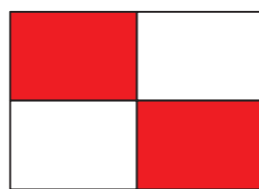
津波がきたときに
安全な高台・避難場所

津波避難ビル



津波がきたときに
安全な避難ビル

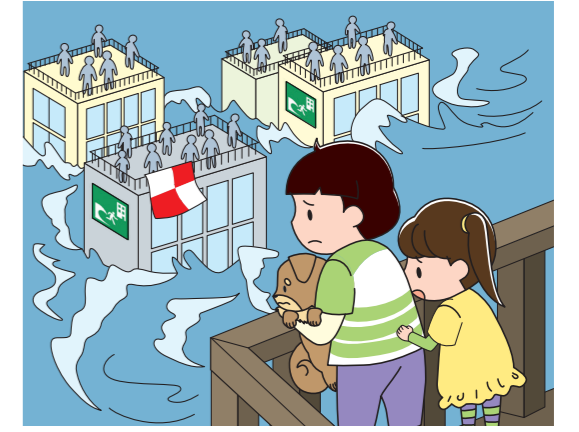
津波フラッグ



海岸で津波がくる
ことを知らせる旗

高い場所をめざしてにげろ！

高台までたどりつけないときは、
近くにある頑丈な高い建物へにげよう。



川や水路から、急いでではなれろ！

津波が、川や水路を逆流して、
河川津波がおしよせてくる。

小さなゆれでも、油断せずに、
川や水路から急いでにげよう。



津波は、何度もおそってくる！

地震のゆれがおさまっても油断しない。

津波警報や注意報が解除されるまでは、
海や川には、絶対に近づかない。



ここなら安心と思わず、より高い場所をめざしてにげよう。

台風

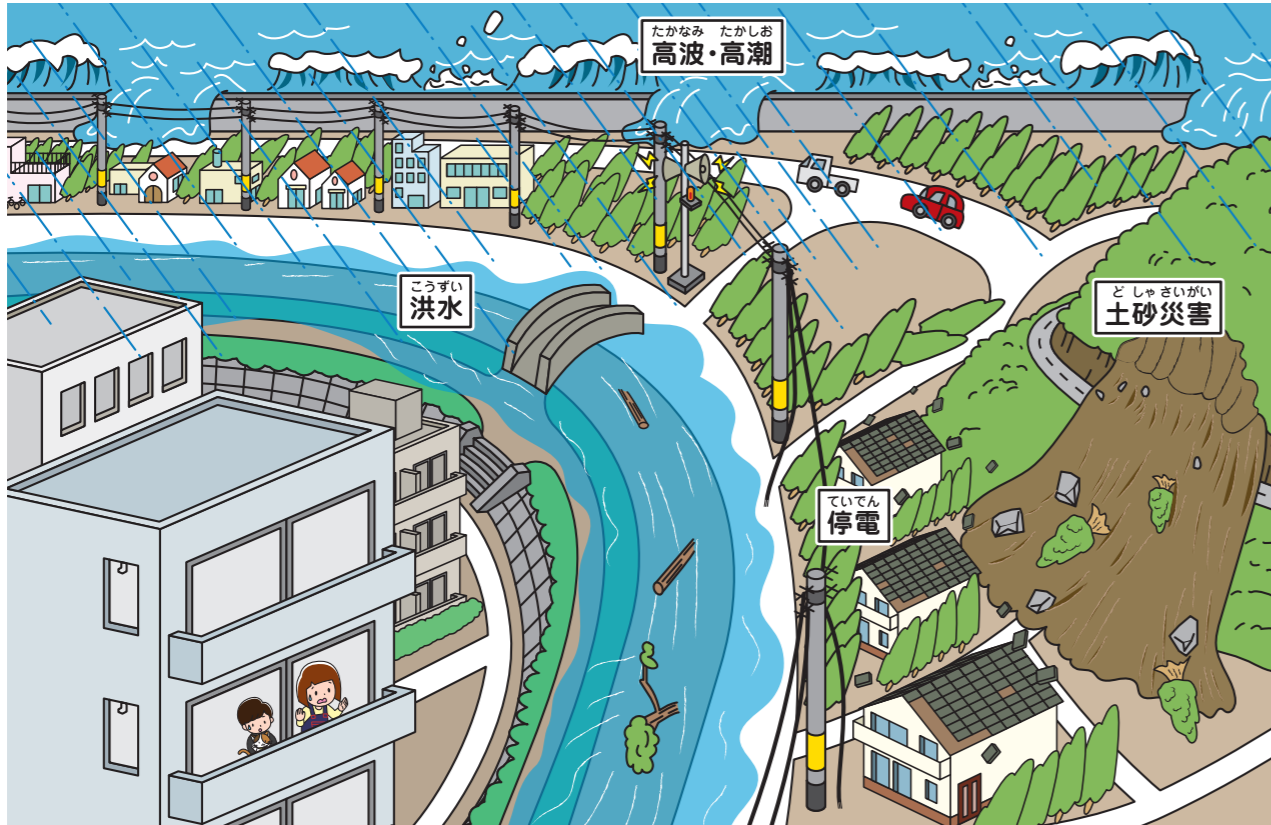
強い風と大雨をふらせる台風がくるぞ。
台風が引きおこす風水害から身を守れ!

もっと知ろう!



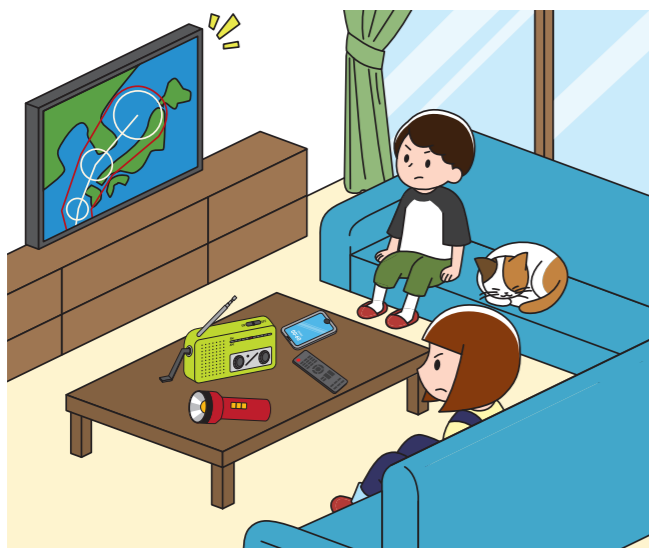
台風がくるぞ! 気象情報に注意!

気象情報は、災害がおこる危険を注意報や警報で知らせてくれるので、洪水や土砂災害など、風水害の危険があれば、災害がおきる前に避難しよう。



気象情報を聞きのがすな!

危険と思えば、すぐにげろ!



台風がくる前に、そなえるぞ!

風で飛ばされるものをかたづける



大事なものを高い場所へはこぶ



停電や断水にそなえて準備する



すぐに避難できるように準備する



台風が通りすぎたあとも、注意しよう!

台風が通りすぎたあとも、強い風がふき返し、雨で山やがけがくずれやすく、川や用水路の水もふえているので、近づかないようにしましょう。



急な大雨 かみなり

積乱雲だ！大雨がふりだすぞ。
急な大雨やかみなりから身を守れ！

もっと知ろう！



積乱雲が近づくサインを見のがすな！

積乱雲は、急な大雨・かみなり・たつまきをひきおこす危険な雲。

積乱雲が近づく3つのサイン

を見のがさない。

- ① 真っ黒い雲
- ② かみなりの音
- ③ 急な冷たい風

天気の変化に気づいたら、すぐに建物の中へにげよう！



黒い雲だ！急いで川からはなれろ！

川の上流でふる雨で、急に川の水がふえて流れがはやくなり、川に流されたり、中洲に取りのこされたりする。

天気の変化を感じたら、雨がふる前に川から急いでにげよう。



急に、大雨がふりだした！

地下街や地下室からはなれろ！

道路にあふれた雨水が、地下に流れこむと、水の力でドアが開かない、階段があがれないなど、にげおくれる危険がある。

大雨がふるときは、地下からはなれよう。



建物の上の階へにげろ！

大雨で道路が川になると、足元が見えなくなり側溝やマンホールに、気づかずに落ちる危険がある。

大雨がふりだしたら、急いで、建物の中に入って、建物の上の階で、身を守ろう。



かみなりだ！

建物の中へにげろ！

かみなりは、高いものに落ちるので、木のそばから、急いでではなれよう。

バットなど長いものは手からはなそう。

近くに建物がないときは、低い姿勢になろう。



空の様子に気をつけて、天気の変化を見のがさないようにしましょう。

そなえよう

災害はいつおこるかわからない！
いざという時のためにそなえよう。

もっと知ろう！



防災マップをつくろう

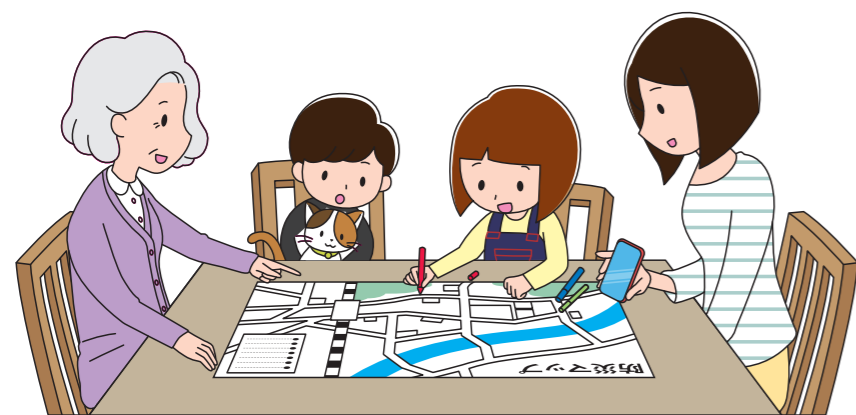
避難所までの道順をおうちの人と歩いて、
防災マップをつくろう。



歩いて発見した、あぶない場所や災害が
おきたときに、役立つような公衆電話が
ある場所などを防災マップにかきこもう。

避難スイッチを決めておこう

避難スイッチは、にげおくれなために、にげるタイミングを決めておくこと。



「いつ」避難するのか
防災気象情報や家の周りの
様子で決める

「どこに」避難するのか
避難所や安全な場所にいる
親せきのおうち

非常持出品と非常備蓄品を準備しよう

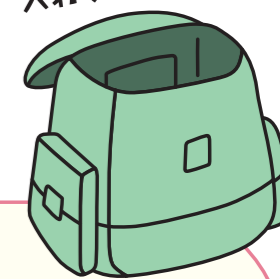
非常持出品は、避難するときに
持ち出すもの。

非常備蓄品は、水や食料、ライフラインが
止まったときに必要なもの。



必要なものは、一人ひとりちがい、ペットも大切な家族
なが必要かおうちの人と話し合って準備しよう。

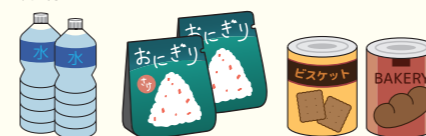
これだけ
入れておこう！



非常持出品 背負って抜ける重さで、すぐに持ち出せる場所に置いておく

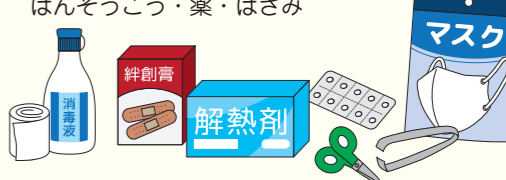
水・非常食(保存食)

ペットボトル500×2本・フリーズドライおにぎり
保存パン・ビスケット



救急セット

マスク・消毒薬・包帯
ばんそうこう・薬・はさみ



貴重品

マイナンバーカード・健康保険証・現金・公衆電話用の10円玉



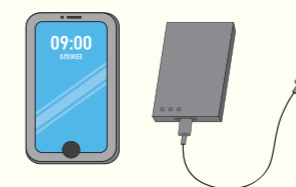
懐中電灯・予備電池



ラジオ



スマートフォン
モバイルバッテリー



筆記用具



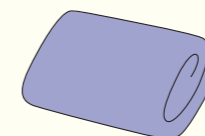
レインコート



携帯トイレ・トイレトーパー
ウェットティッシュ・ポリ袋



タオル



防災マップ



ヘルメット・軍手
ホイッスル



非常備蓄品 ライフラインがもどるまでの数日間を自力でくらすようにする

水・食料は、7日分を目安に用意

水：1人1日3L

食料：常温保存できるもの

ライフラインが止まったときの準備

電気：ランタン・懐中電灯

ガス：カセットコンロ・ガスボンベ

水道：水の供給用ポリタンク・簡易トイレ



使用・消費期限がきれていないか、定期的に点検しよう。

火 事

あっ！ 火事だー！！
 炎と煙でおそいかかる火事から身を守れ！

もっと知ろう！



急いでにげて、
 みんなに知らせろ！

小さな火でも、火事がおきたら
 「火事だー」と大きな声で、
 まわりのみんなに知らせよう。

近くの大人に助けを求めよう。



煙をすうな！
 低い姿勢でにげろ！

火事でこわいのは、煙！
 煙をすいこむと体が動かなくなる。

煙をすわないように、ハンカチなどを
 口と鼻にあてて、低い姿勢でにげる。

一度にげたら、絶対にもどらない。大事なものでも取りにもどらない。

おぼえておこう 消防に知らせる 119番

あわてずに 119番に電話をかけて、聞かれたことにはっきり答えよう。



火事です！！



〇〇町、
 〇〇番地です！



台所がもえています！



なくそう！ 怖い火事！

放火



家の周りにもえるものを
 置かない。

コンロ



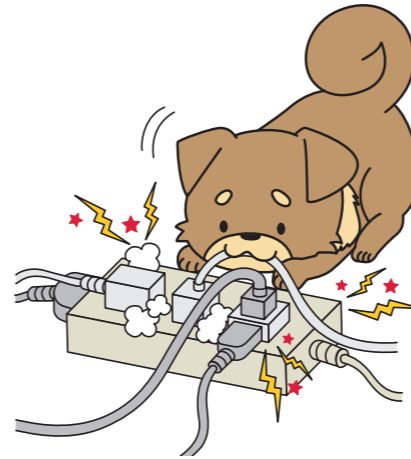
コンロから目をはなさない。
 そばをはなれない。

たばこ



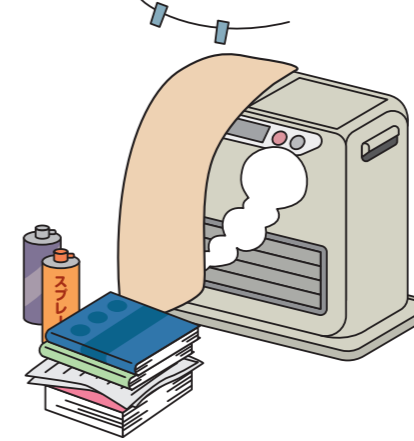
たばこの消しやすれや
 寝たばこをしない。

電気コード



コンセントのたこ足配線
 やほこりをためない。

ストーブ



近くにもえやすいものや
 スプレー缶を置かない。

火遊び

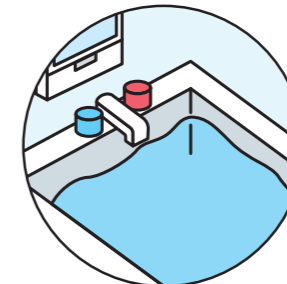


子どもだけで、花火や
 火遊びは絶対にしない。

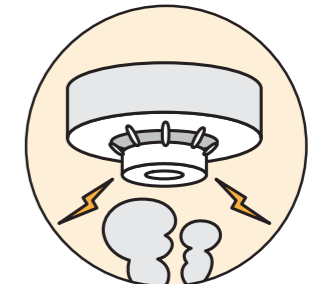
火事にそなえよう



消火器を置いておく



お風呂に水をためる



住宅用火災警報器をつける